

どこまで遠くが見えるかな

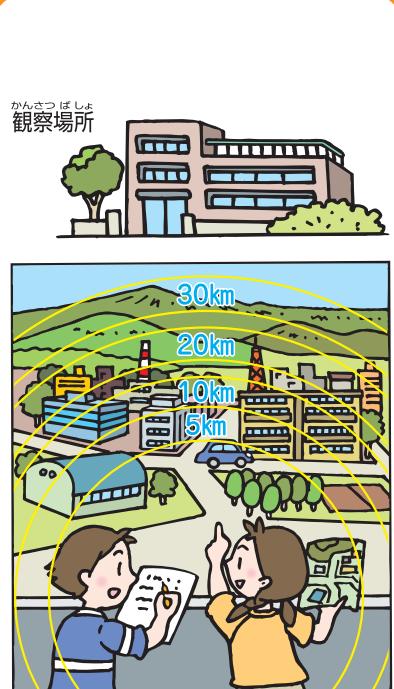
雨の日や晴りの日は、遠くのものが見えにくくなります。天気の良い晴れた日でも、遠くのものが見えにくいときがあります。これは、空気中のほこりやちりが多くなり、空気の透明度（透明さ）が下がるためです。どのくらい遠くのものまで見えるのかを調べて、自分たちが住んでいるまちの空気の状態を考えてみよう。

用意するもの

観察カード、観察場所のまわりの地図、筆記用具

すすめ方

- 最初に観察場所を決めます。観察場所は、学校の一番高い階など遠くのものがよく見える場所を選ぼう。
- 天気の良い晴れた日に、観察場所からまわりを見わたして、できるだけ遠くにある山や鉄とう、工場のえんとつなど、それぞれ距離の違う観察ポイントをいくつか決めます。
- 地図を見て、(例)を参考にしながら、観察カードに観察ポイントを書き込んでいきます。観察カードは、コピーして、同じものを10枚つくります。
- 10日間、毎日同じ時刻に、観察場所から観察ポイントを見て、形がはっきり見えたもののうち一番遠くの観察ポイントに色をつけてチェックします。
- 観察カードには、毎日の天気を「晴れ」「くもり」「雨」「雪」「風」の区分で記入します。そのほか、観察した日の風の強さなど気がついたことを記入しておきます。
- 雨の降った次の日や風の強かった日、晴天が続いたなどのなどで、観察結果がどう違うかなど、気づいたことや分かったことを話し合ってみよう。



注意点・工夫

- 季節によって違いがあるかどうか、時期を変えて、同じ方法で観察してみよう。

かんさつ 観察力カード

なまえ

きより
(距離)

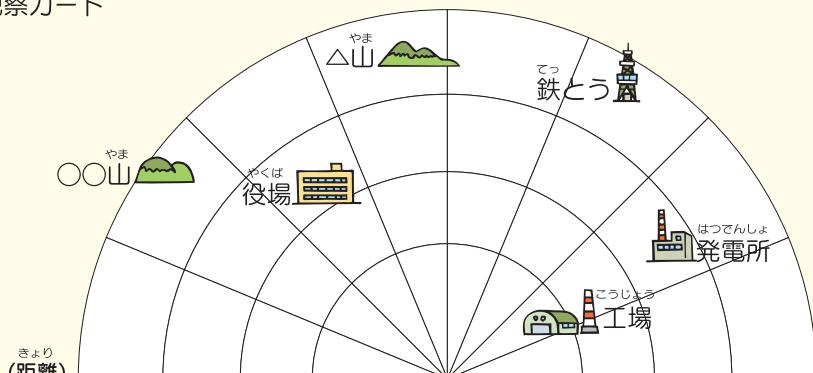
かんさつばしょ
観察場所

かんさつ
観察した日 ひ _____ がつ 月 日 ()
_____ 時 分
てんき
天気 _____

き
気づいたこと

れい
(例)

かんさつ
観察カード



きより
(距離)
50km 5km 2km 1km

がつ 月〇日 (〇)
じ 分
〇時〇分
てんき
天気

き
気づいたこと

<まとめ>

☆この観察を行って気づいたことや分かったこと、感想など。